

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

社会で活躍できる人間の育成を通して、地域から信頼される学校をめざします
 ～ 4つの活動（『学習活動』『部活動』『自治活動』『地域連携活動』）を大切に、生徒の人間力を高めます ～
 「徳性・知能・体力」ともにすぐれ、誠実、明朗で友愛と気力に満ちた人間の育成に努めるとともに、生徒一人ひとりの持てる力を最大限に伸ばし、社会で活躍できる人間の育成を通して、地域から信頼される学校づくりをめざす。

そのために、
 「確かな学力」への取組みを通して、学習習慣の定着を図るとともに、基礎的な力の定着と自ら学び考えることのできる応用力を養成する
 「豊かな心」を育む活動を通して、自尊感情を高め、他者を理解し共感できる力を涵養する
 「キャリア教育」を全ての教育活動の中で展開することを通して、明確な将来設計を描き、目標に向かって努力し続ける態度を育成する

2 中期的目標

- 1 確かな学力の育成と進路実現の支援（授業をはじめとする『学習活動』）
 - (1) 授業力の向上と確かな学力の育成
 - ア 授業に集中する環境づくりを進める。校内授業見学の充実を図ることにより、教員の授業力を高める
 - イ 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりを進める
 - ウ 社会で自立するために必要な基礎学力を育成するとともに、生徒の学習習慣の確立を図る

学校教育自己診断生徒項目の学習・授業に関する項目の肯定的評価平均を、(H29:68,H30:70,R1:66%) 75% (4年度)
 「学校経営推進費」による『進路学習室』の機能を更に生かし、同生徒項目「視聴覚機器等の活用」を、(H29:52,H30:62,R1:69%) 75% (4年度)
 - (2) カテゴリー制の充実
 - ア 「人文ステップアップコース委員会(J S I)」が中心となり、ステップアップコースの一層の充実とともに、カテゴリー制全体の充実を図る
 - イ 「学力生活実態調査(以下「実態調査」)」を活用し進路意識の醸成を図りながら、カテゴリー選択指導を充実させる

ステップアップコースの大学進学希望者中、自己の進路実現に向けて一般入試まで努力する生徒の割合を、(H29:25,H30:37,R1:37%) 45% (4年度)
 - (3) キャリア教育の推進
 - ア 「職業を知る」「地域を知る」「自分を知る」活動を通して、社会で生き抜くための力を身に付けるとともに、将来の目標を持たせることができるよう、「総合的な学習(探究)の時間」を軸に、3年間を見通したキャリア教育を展開する
 - イ 生徒の希望する進路の実現に向け、生徒への支援を充実させるとともに、『進路学習室』の機能をより一層活用する。

学校教育自己診断生徒項目、保護者項目の進路指導に関する項目の肯定的評価平均を、(H29:75,H30:76,R1:76%) 82% (4年度)
 学校教育自己診断教職員項目の進路「きめ細かい指導」・「組織連携」関係項目の肯定的評価平均を(H29:67,H30:65,R1:58%) 70% (4年度)
- 2 安全で安心な魅力ある学校づくりの推進
 - (1) 部活動、生徒会や各種行事等の自治活動の活性化と、自主的に規律ある学校生活を送る意識を高める指導（『部活動』『自治活動』『地域連携活動』）
 - ア 部活動への加入を一層促進するとともに、生徒会主催のボランティア活動や地域連携活動の充実を図るなど、生徒の主体性や協調性を育む
 - イ 「学校生活協議会(わくわく委員会)」の運用を図りながら、自分たちで規律ある生活を送り、学校をよくし後輩に伝えていく意識を醸成する

1、2年生の部活動加入率(H29:60,H30:60,R1:64%) 70% (4年度)、登校遅刻数(H29:1169,H30:760,R1:728) 現状を維持する(4年度)
 学校教育自己診断生徒項目「生徒会活動は活発である」の肯定的評価を、(H29:60,H30:57,R1:61%) 67% (4年度)
 生活指導に関する項目の肯定的評価を、(H29:64,H30:63,R1:56%) 65% (4年度)
 - (2) 教育相談体制の充実
 - ア 生徒や保護者に対するきめ細やかな教育相談ができるよう、情報の共有や体制づくり、環境整備の充実を図る
 - イ 様々な事象に対する円滑かつ確実な対応ができるよう、校内組織に加え、スクールカウンセラーや学校医等、各関係機関との連携を生かす

学校教育自己診断生徒項目の教育相談、支援に関する項目の肯定的評価平均を、(H29:74,H30:72,R1:71%) 77% (4年度)
 学校教育自己診断保護者項目「気軽に相談できる」の肯定的評価平均を、(H29:71,H30:64,R1:65%) 74% (4年度)
- 3 学校の組織力向上をめざした取組み
 - (1) 学校運営改善に向けた方策の具現化
 - ア 生徒情報を中心とする学校情報の共有と、学年・分掌等の組織間での円滑・有機的な連携を図る
 - イ 学校運営改善に向け、「将来構想委員会」及び「4つのチーム」を軸に、組織・教員間で連携・協働し各アクションプランを推進する
 - ウ 各種会議等の在り方について改善を図るとともに、「働き方改革」を見据えた運営改善及び教職員の健康管理を推進する

(「4つのチーム」： 学力・授業力向上 学校行事・部活動活性化 交流活動 広報・学校説明会)
 学校教育自己診断教職員項目の診断「組織連携・運営改善」に関する項目の肯定的評価平均を、(H29:60,H30:58,R1:51%) 65% (4年度)
 - (2) 経験年数の少ない教員のOJTの推進
 - ア 若手教育力育成の「さみどり塾」、研究授業の定例化や、「伝え合い・学び合い」の取組みをすすめ世代継承の活性化を図る

学校教育自己診断教職員項目の診断「経験の少ない教職員育成の体制」に関する項目の肯定的評価を、(H29:50,H30:43,R1:39%) 55% (4年度)
 - (3) 中高・高大・地域連携の推進と広報活動の強化（『地域連携活動』）
 - ア 部活動や体育祭、文化祭での交流等による中高・地域連携、大学からの学生派遣(学習支援)や交流活動等による高大連携を一層推進する
 - イ ホームページの更新と、ホームページ等を通じた学校の取組みについての発信を強化する

学校教育自己診断生徒項目の「授業や部活動などでの校外連携」の肯定的評価を、(H29:50,H30:51,R1:49%) 60% (4年度)
 同生徒・保護者両項目の「学校のホームページをよく見る」の肯定的評価を、(H29:21・23,H30:28・31,R1:23%・35%) 35%・45% (4年度)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 (R1 R2) 学校教育自己診断結果：肯定的評価	自己評価
1 確かな学力の育成と進路実現の支援	<p>(1) 授業力の向上と確かな学力の育成を図る</p> <p>ア 授業に集中する環境づくり</p> <p>イ 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくり</p> <p>ウ 生徒の基礎学力の育成、学習習慣の確立</p> <p>(2) カテゴリー制を充実させる</p> <p>ア ステップアップコースの検証とカテゴリー制全体の充実</p> <p>(3) キャリア教育を充実させる</p> <p>ア 年間目標の具体化と検証</p> <p>イ カリキュラムの充実・改善</p> <p>ウ 「学校経営推進費」による『進路学習室』の更なる活用</p>	<p>(1) 生徒とのコミュニケーションを生かし、授業力・学力向上に、学校をあげて取り組む。</p> <p>ア 授業への集中力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内の環境整備、準備と切替の徹底 <p>イ 授業見学の活性化、優れた取組み (GP) の共有化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科内研修等、教員間の研鑽を図る。 ・視聴覚機器、図書館を活用した授業の実践 <p>ウ 『自己探究』の充実、評価を円滑に進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ツールや週末課題等の活用 ・補習、特別課題等による徹底した指導、支援 <p>(2) 学力の定着度や伸び等、データをもとに的確なアドバイスを計画的・継続的に行う。</p> <p>ア 模試、「学力生活実態調査 (実態調査)」の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理系進学対応の強化 ・J S I の効果的運用と共通理解 <p>(3) ア 目標意識や職業観を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職業を知る」：卒業生、企業による講演会等 ・「地域を知る」：職業見学、体験、ボランティア等 ・「自分を知る」：自己理解、自分史づくり等 <p>イ 「総合的な学習 (探究) の時間」や「道徳教育」等を含む新カリキュラムの具体化</p> <p>ウ 進学講習、面接指導等の更なる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得 (英語、情報、数学、漢字、コース検定等) に向けた講習等、取組みの推進 ・プレゼン等、授業での更なる活用 	<p>(1) アイ 【生徒】「学習・授業関係」 (66% 70%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【生徒】「他の先生が授業を見る」 (55% 60%) イ【教職員】「検討機会」(51% 56%) 【生徒】「視聴覚機器を使う授業」 (69% 72%) 【教職員】「図書館活用」(46% 50%) <p>ウ 円滑実施、更なる工夫、改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習時間の増加、各教科間の調整 <p>(2) 「実態調査」全体・各教科の1アップ以上をめざす</p> <p>ア 大学進学で一般入試まで努力する生徒 (31% 35%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実態調査」平均B以上・伸び ・実情等の報告と共有化 (職会等) <p>(3) ア 系統的な計画の具体化</p> <p>【生徒】【保護者】進路関係</p> <p>(生：78% 80%、保：74% 78%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規+企画充実2件以上と評価 <p>イウ 運用と具体化、活用状況</p> <p>ウ【教職員】進路「きめ細やかな指導」・「組織連携」平均 (58% 63%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英検」受検者数・準2級以上合格率 (144・30% 140名程度・30%維持) ・「情報」受検者数・合格率 (28・82% 30名程度・80%維持) 	
2 安全で安心な魅力ある学校づくりの推進	<p>(1) 部活動、自治活動の活性化、規律ある学校生活の確立を図る</p> <p>ア 部活動、生徒会活動の活性化</p> <p>イ「わくわく委員会」の運用、遅刻指導、清掃活動推進</p> <p>ウ 制服指導の充実</p> <p>(2) 教育相談体制を充実させる</p> <p>ア 情報の共有や体制づくり、環境整備や研修の充実</p> <p>イ 「いじめ防止」をはじめとする人権教育の充実</p> <p>(3) 交通安全指導、防災教育を充実させる</p>	<p>(1) 指導方針・内容の共通理解の徹底と共に、キャンペーン等、指導上の工夫を一層図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「理解と納得」を図る説明と指導 <p>ア 「フレッシュマンキャンプ」の効果的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入の促進の更なる強化 ・勧誘活動、部活動の発信力向上 (学校HP等) ・図書委員活動の更なる充実 ・生徒会執行部が主催、活躍する行事の充実 ・達成感や自己肯定感を味わえる活動の実現 <p>イ 「わくわく委員会」の効果的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻の対話指導充実、登校遅刻数の現状維持 ・清掃の徹底強化、保健委員活動の活性化 <p>ウ 制服指導に学校をあげて取り組む。</p> <p>(2) 教職員の意識向上と体制強化を図る。</p> <p>ア 早期発見・対応に向けて指摘し合える体制づくり、「生徒支援委員会」の効果的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談室の活用等、教育相談機能の充実 ・人権感覚に富んだ生徒への言葉かけ・対応 <p>イ 「いじめ対応委員会」と各種会議、外部の関係機関との効果的な連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート等の活用と対応の充実 <p>(3) 関係機関と連携した交通安全指導、防災避難訓練、マニュアルの更なる充実を図る。</p>	<p>(1) 【生徒】【保護者】「生活指導」 (生：56% 60%、保：66% 70%)</p> <p>ア アンケート結果等から検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率 (64% 67%)、1年は77%以上、HPの定期更新 ・新規取組又は企画改善2件以上 ・【生徒】「生徒会活動は活発」 (61% 64%) イ 年間3回以上開催、運用評価 ・年間登校遅刻 800程度 (R1: 726) ・【教職員】清掃関係 (39% 43%) <p>ウ 共通理解と統一した指導</p> <p>(2) ア 「相談・支援関係」</p> <p>【生徒】(71%以上)【教職員】(54% 60%)</p> <p>【保護者】「気軽に相談できる」(65% 68%)</p> <p>イ【生徒】「いじめ等への対応」 (68% 72%)</p> <p>【生徒・保護者】「人権尊重」 (69%・73% 72%・75%以上)</p> <p>(3) 【生徒・保護者】「防災関係」 (65%・67% 70%・72%以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルの周知徹底 	

<p>3 学校の組織力向上をめざした取組み</p>	<p>(1) 学校運営改善を実現する ア 学校情報の共有と、組織間での連携の充実 イ アクションプランの推進 ウ 「働き方改革」を見据えた運営改善及び教職員の健康管理 (2) 経験年数の少ない教員へのOJTを推進する ア 「さみどり塾」、研究授業の定例化 イ 世代継承の取組 (3) 中高・高大・地域・PTA連携と広報活動強化を図る ア 高大連携の充実 イ 中高・地域連携の充実 ウ ホームページの更新、発信強化</p>	<p>(1) ア・的確な「報・連・相・確認」の推進 ・各方針の共通理解と統一指導の徹底、協力 ・分掌等の業務、チーム分担の明確化 ・個人情報保護・管理のより一層の徹底 ガイドラインの理解徹底、環境整備 ・コンプライアンスに係る教職員の意識向上 イ・アクションプランの精選・重点化推進 ・改善に向けた前向きな提言の反映・採用 ウ・各種会議の計画的運用、効率化を図る ・統合ICTの活用、教材、案内文書等の共有 ・時間外在校時間が多い教職員への個別指導 (2) ア・相互授業見学、OJTの活性化 ・「さみどり塾」等、校内研修の更なる充実 イ 全教職員が「学ぶこと、伝えること」いずれかを目標化する。 (3) 地域連携、PTAの参画により充実 上記2(1)と連動 ・オープンキャンパスの充実、参加者の増大 ・広報ビデオや新リーフレット等の更新 ア 高大連携の更なる推進を図る。(大学生の学習支援・国際交流活動、研修依頼等) イ 中高・地域連携の推進を図る。(インターシップ受入、授業見学、部活動交流等) ウ 学校情報の発信強化を図る。 ・ホームページのコンテンツ充実、更新の定着 ・生徒・保護者への周知徹底、趣旨等の明確化</p>	<p>(1) ア 取組状況により検証 【教職員】「学校組織」(48% 52%) 【保護者・教職員】「個人情報の管理」(80%・46% 85%・55%) イ 進捗・達成状況により評価 ・「学校経営計画」等に反映 アイウ 【教職員】「組織連携・運営改善」平均(51% 56%) ウ 【教職員】「会議の有効機能」(28% 40%) ・会議日程を踏まえ案件の早期提出 ・学校安全衛生委員会、個別指導を毎月実施 (2) アイ 意識付けの徹底 【教職員】「経験少ない教職員を育成する体制」(39% 43%以上) イ 自己申告票で全員が目標化、達成状況で80%以上 (3) アイ 新規取組又は企画改善を少なくとも新たに2つは行う ・学校説明会等への参加者数(666 700以上) ・【生徒】「授業、行事等を通して校外と交流機会」(49% 55%) ウ 【生徒・保護者】「HPをよく見る」(23%・35% 30%・40%)</p>
-------------------------------	--	--	---